立数 2 配当年次 2年 授業形態 講義 開講学期 半期 学部・学科 [区分] 法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目] ディプロマポリシ (1)(2)	目名
学部・学科 [区分] 法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目] ディプロマポリシ (1)(3) 他学部他学科履修 行政法学の体系、基本概念について学ぶ。本講義では、行政法学とはいかなる法分野なの	目担当者
部他学科履修 他学部他学科履修○ 行政法学の体系、基本概念について学ぶ。本講義では、行政法学とはいかなる法分野なの	位数
	学部・学科 [区分] 学部他学科履修
炎の概要 段といった内容を扱う。	業の概要
本講義は、受講生が①行政法総論に関する基本的事項についての知識を身につけ、②その歴史的、思想的背景を学ぶとともに、③今日における運用上の問題点について理解を深めることを目標としている。	業の到達目標
ガイダンス 2 行政法とは何か 3 行政組織の法関係 4 法治主義と法律による行政の原理 5 行政法規範①一法規命令と行政規則 6 行政法規範②一委任命令の適法性 7 行政法規範③一法律と条令 8 行政法規範④一行政計画、その他 9 行政行為①一行政行為の概念 10 行政行為②一行政行為の概念 10 行政行為②一行政行為の性質 11 行政行為③一行政行為の性質 12 行政行為④一取消しと無効 13 行政行為⑤一職権取消と撤回 14 行政行為⑥一行政行為の附款 15 総括	業計画・内容
業外学修 - 予め指示したテキストの予翌範囲を通聴しておくこと(毎週9時間程度)	業外学修 前学修)
	業外学修 F後学修)
西比率・到達 定期試験 100% ①、②、③	績評価方法・ 価比率・到達 標との対応
秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合	績評価基準
当書 曽和俊文ほか『現代行政法入門〔第 5 版〕』(有斐閣、2019)	科書
考文献 適宜指示する。	 考文献
つ他	 の他